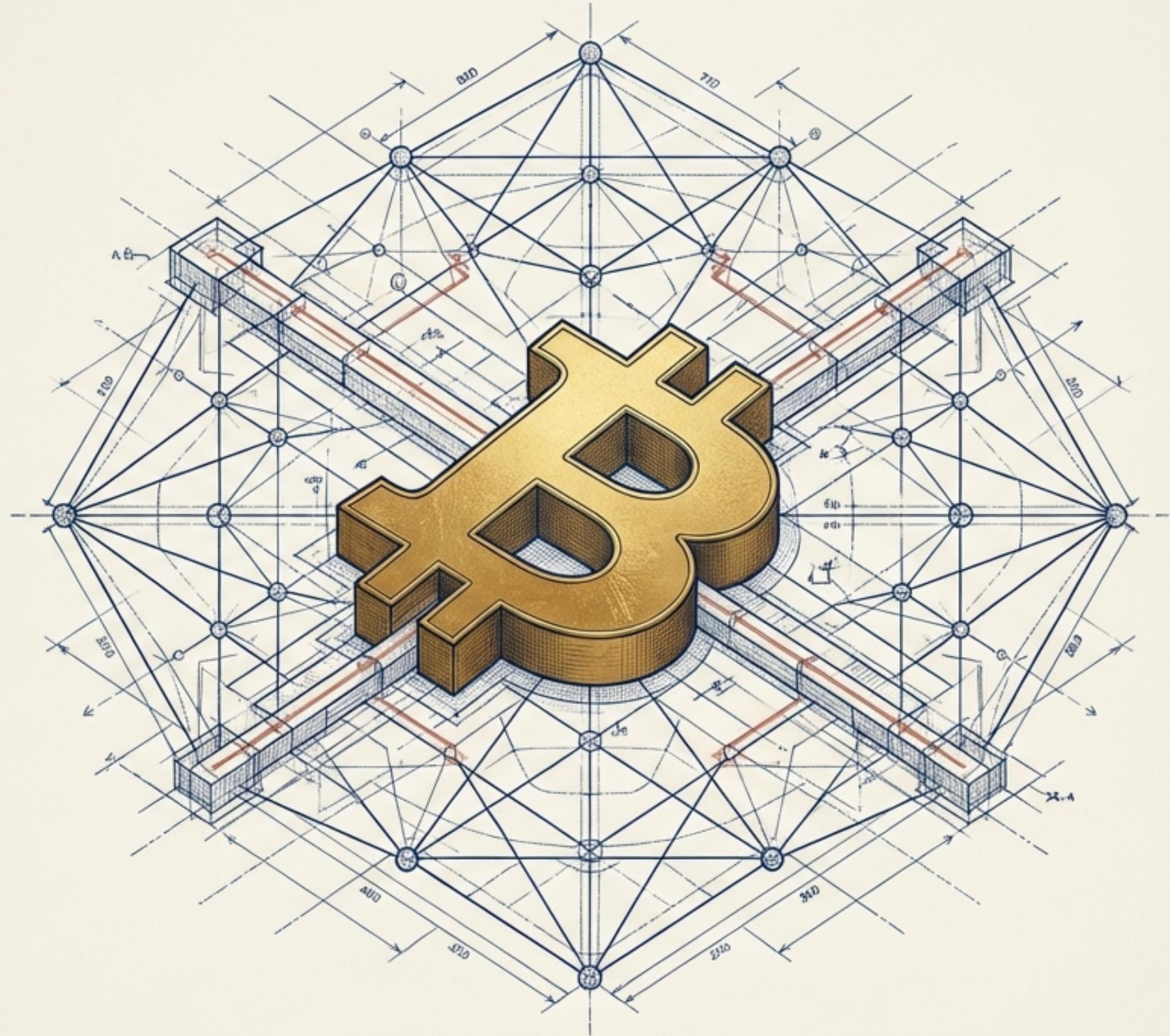


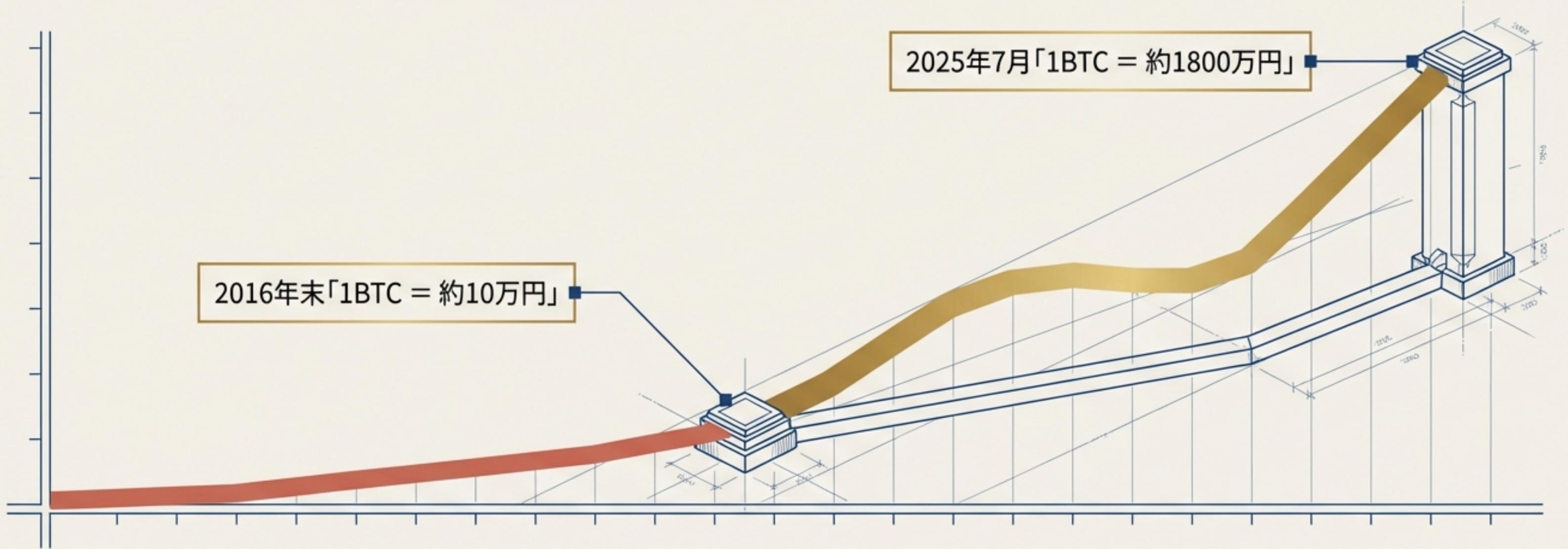
【完全図解】 いまさら聞けない 「ビットコイン」と 「ブロックチェーン」

世界一熱く、世界一わかりやすい
「未来のお金」の授業

国家の権威から、数学への信用へ。
テクノロジーが書き換える
社会のルール。



わずか8年で、人類史上類を見ない大暴騰。



一過性のブームは終焉

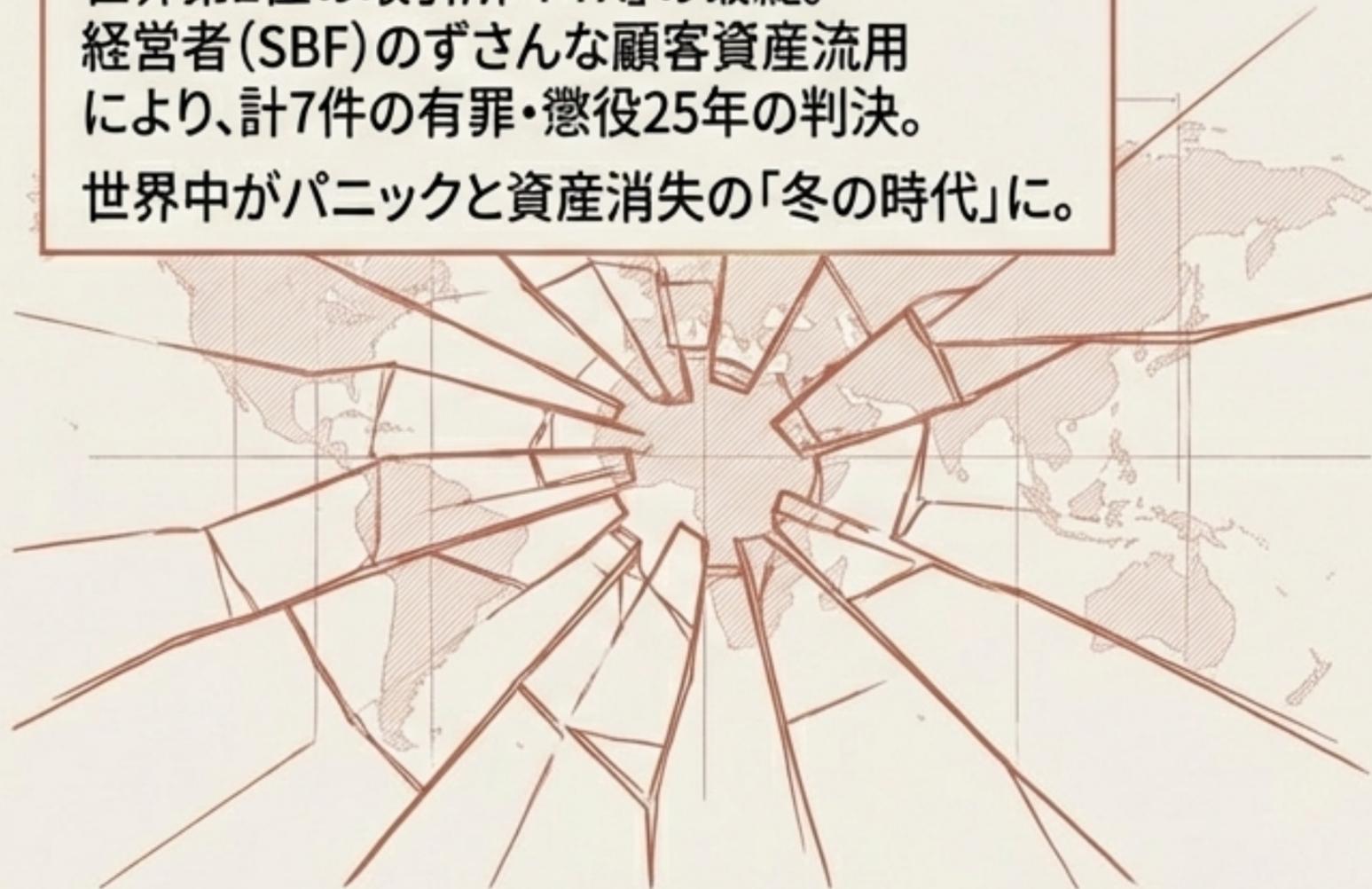
アメリカが「国家の準備金」としての備蓄政策を打ち出す時代へ。

普及の現実

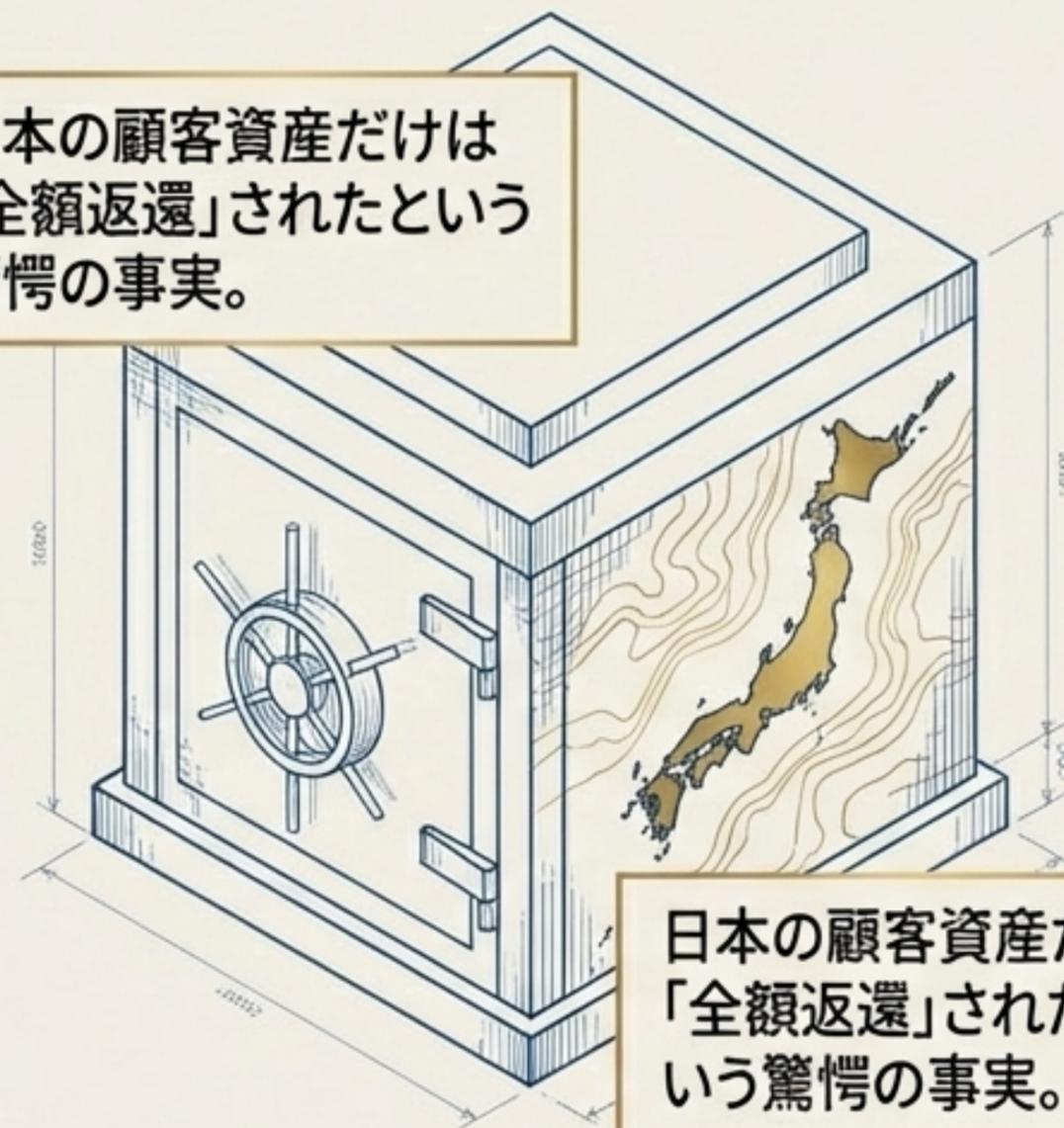
日本国内でもすでに1200万人が保有。単なる決済手段から、株式と並ぶ「新たな金融資産」へと完全に移行。

FTXショックを乗り越えた「暗号資産大国・日本」

世界第2位の取引所「FTX」の破綻。
経営者(SBF)のずさんな顧客資産流用
により、計7件の有罪・懲役25年の判決。
世界中がパニックと資産消失の「冬の時代」に。



日本の顧客資産だけは
「全額返還」されたという
驚愕の事実。



日本の顧客資産だけは
「全額返還」されたと
いう驚愕の事実。

これは技術の欠陥ではなく「人間のモラル」の問題。

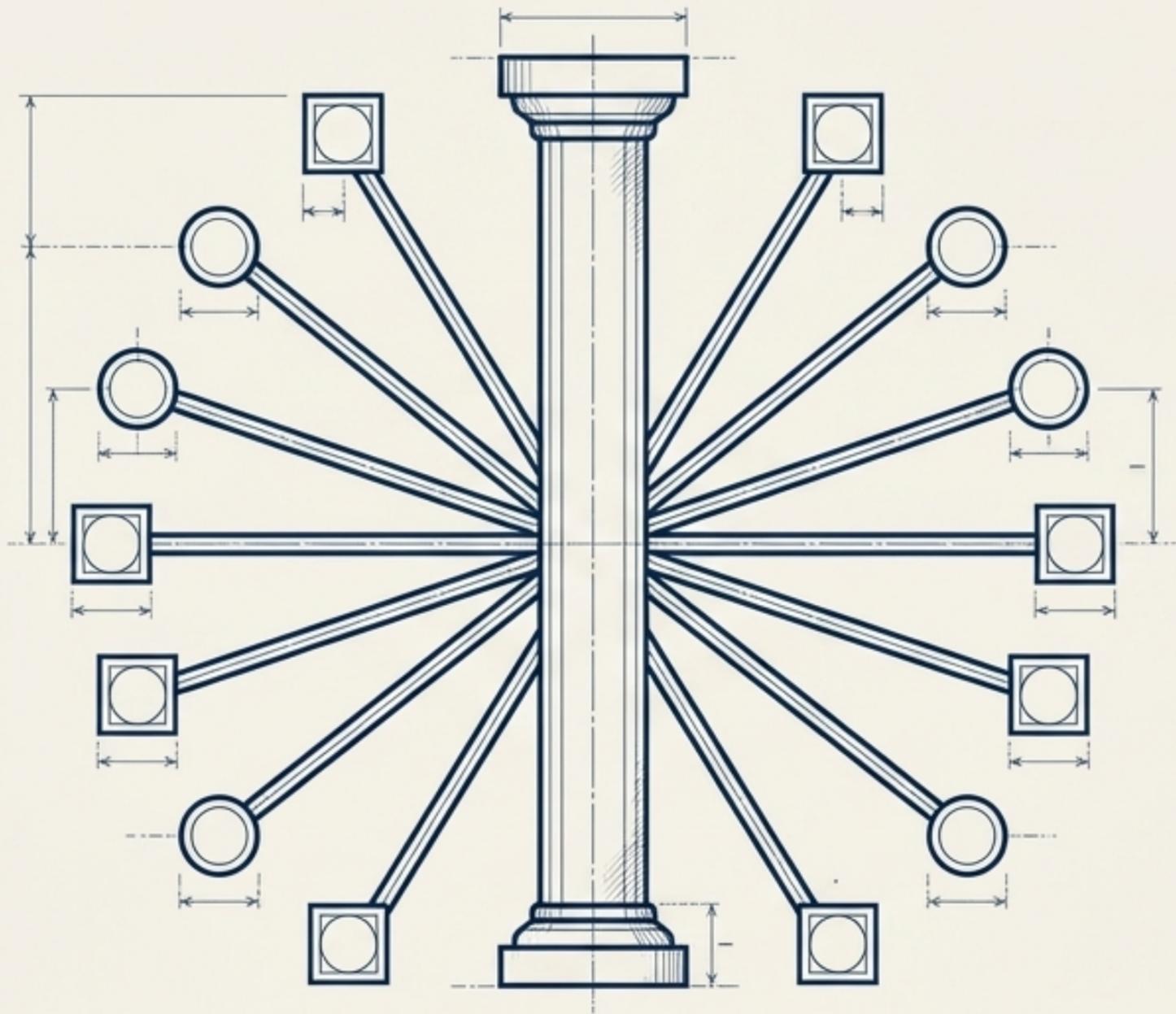
日本は法規制と「顧客資産の分別管理」の義務化により、
世界最高水準の安全性を自ら証明した。

国も、銀行も、誰も管理していない「民主的な通貨」



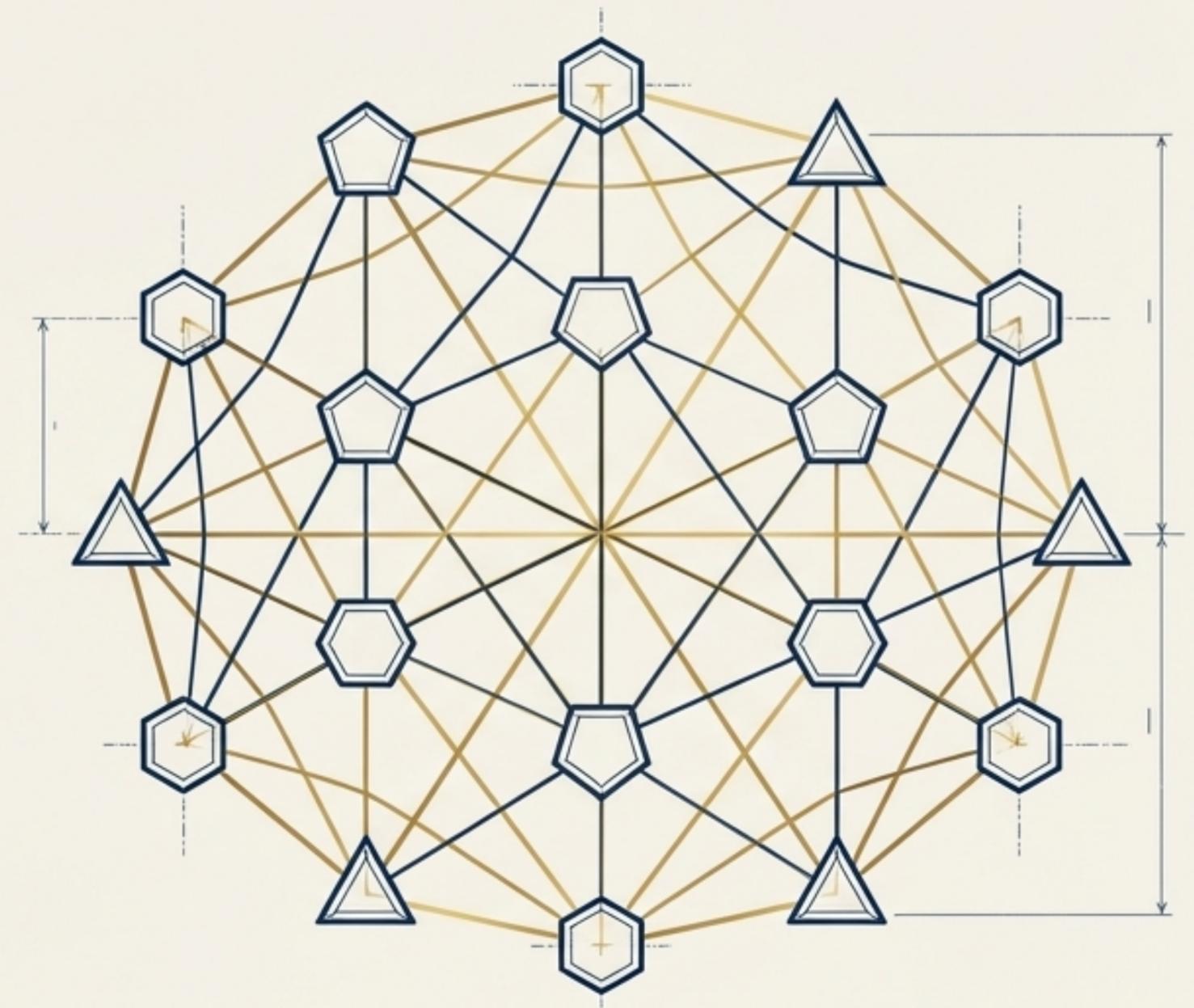
円やドルのように紙幣を持たず、特定の管理者が存在しない「純粋な電子データ」。

「管理者が誰もいないのに、どうやって価値を守るのか？」



【中央集権（法定通貨）】

- 管理者: 絶対的な権力 (日本銀行・政府)
- 信用の根拠: 「国」の存在そのもの
- リスク: 国の都合 (勝手な大量発行など) に振り回される



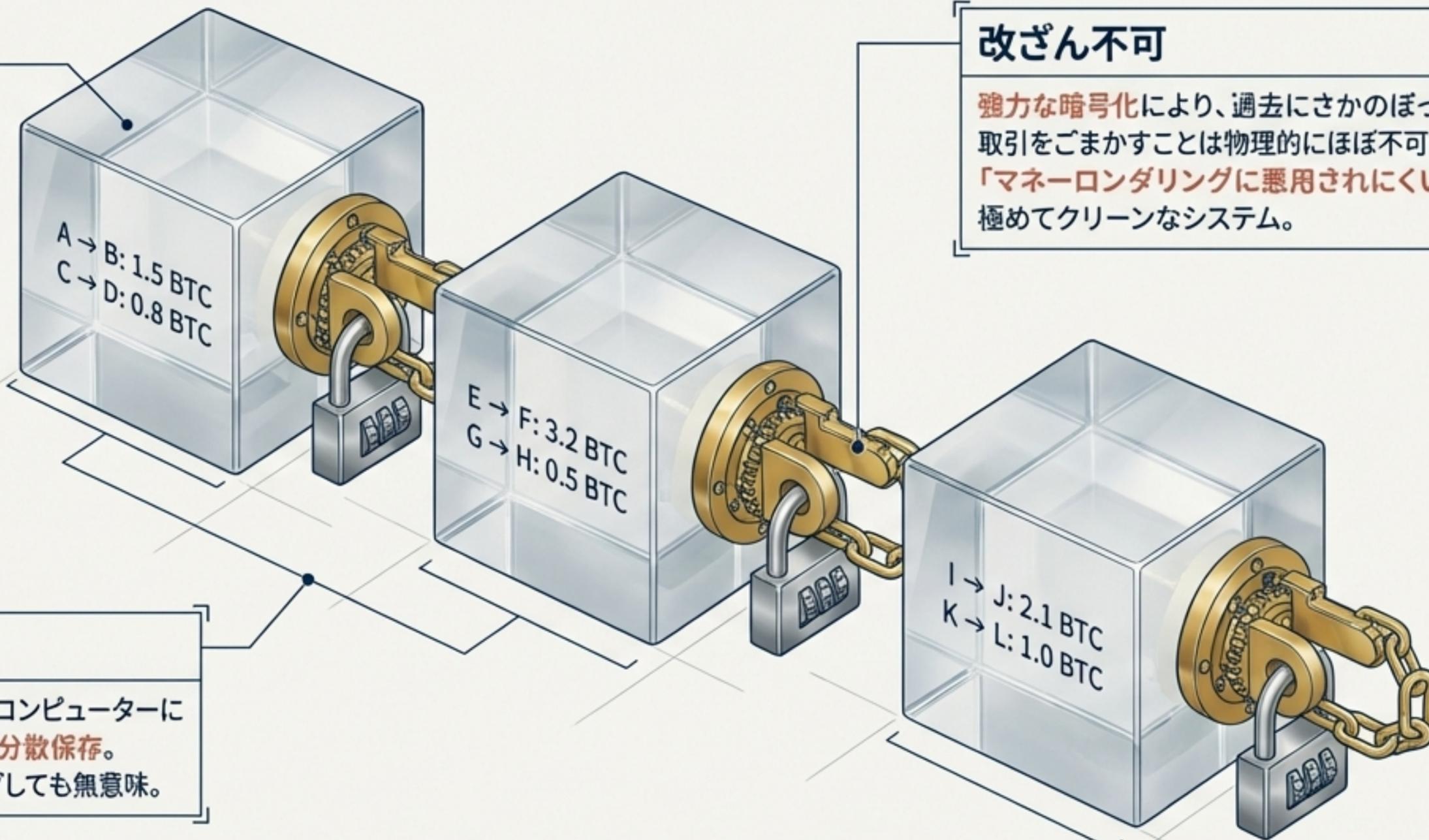
【分散型 / P2P (ビットコイン)】

- 管理者: なし (ピア・ツー・ピア)
- 信用の根拠: 「ネットワーク全体」の監視
- メリット: 世界中のユーザーが対等に繋がり、誰も勝手にルールを変えられない

不正を許さない最強の公開台帳「ブロックチェーン」

全世界に公開

すべての取引記録(トランザクション)はウェブ上で**全世界に公開**され、誰でも確認できる。



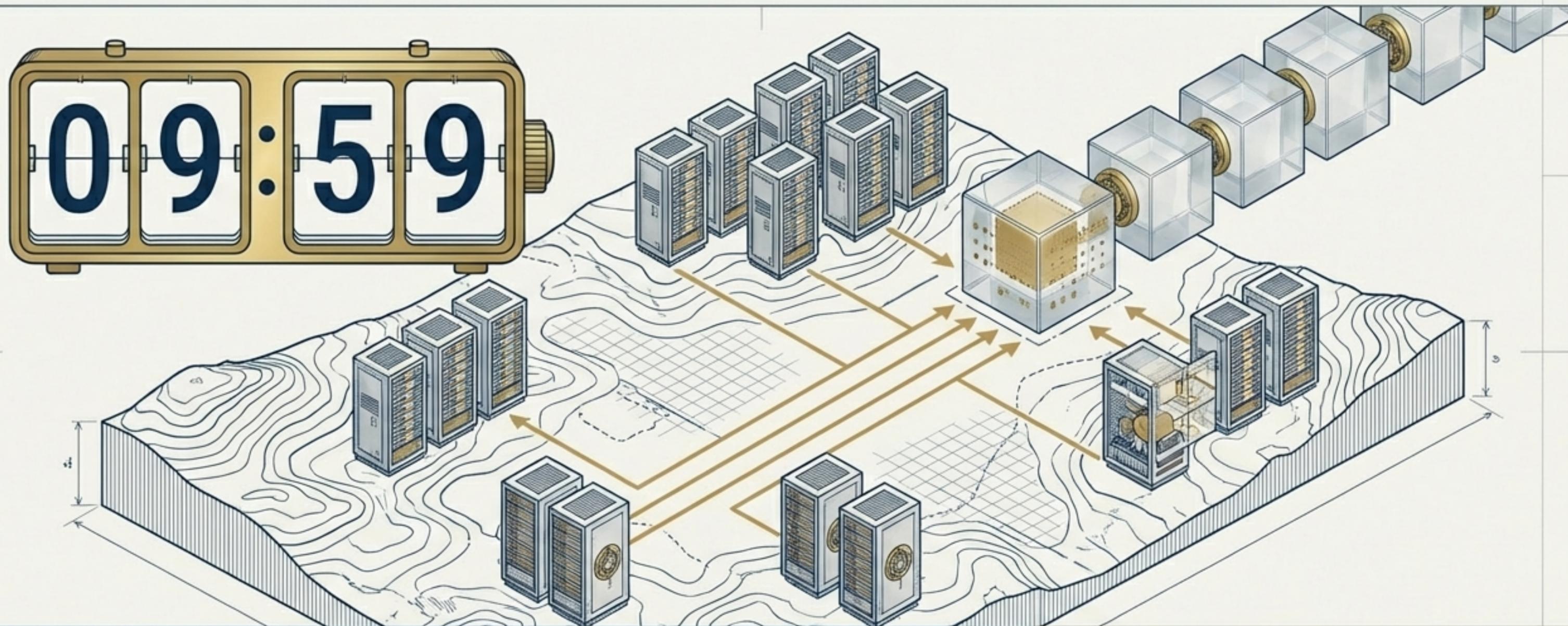
改ざん不可

強力な暗号化により、過去にさかのぼって取引をごまかすことは物理的にほぼ不可能。
「マネーロンダリングに悪用されにくい」
極めてクリーンなシステム。

分散保存

データは世界中のコンピューターに「**同じ台帳**」として分散保存。
1箇所をハッキングしても無意味。

10分に1回の「壮大な暗号解読レース」



STEP 1: ミッション

世界中で発生した「未承認の取引」をひとつのブロックにまとめ、過去の鎖(チェーン)に正しく繋ぐこと。

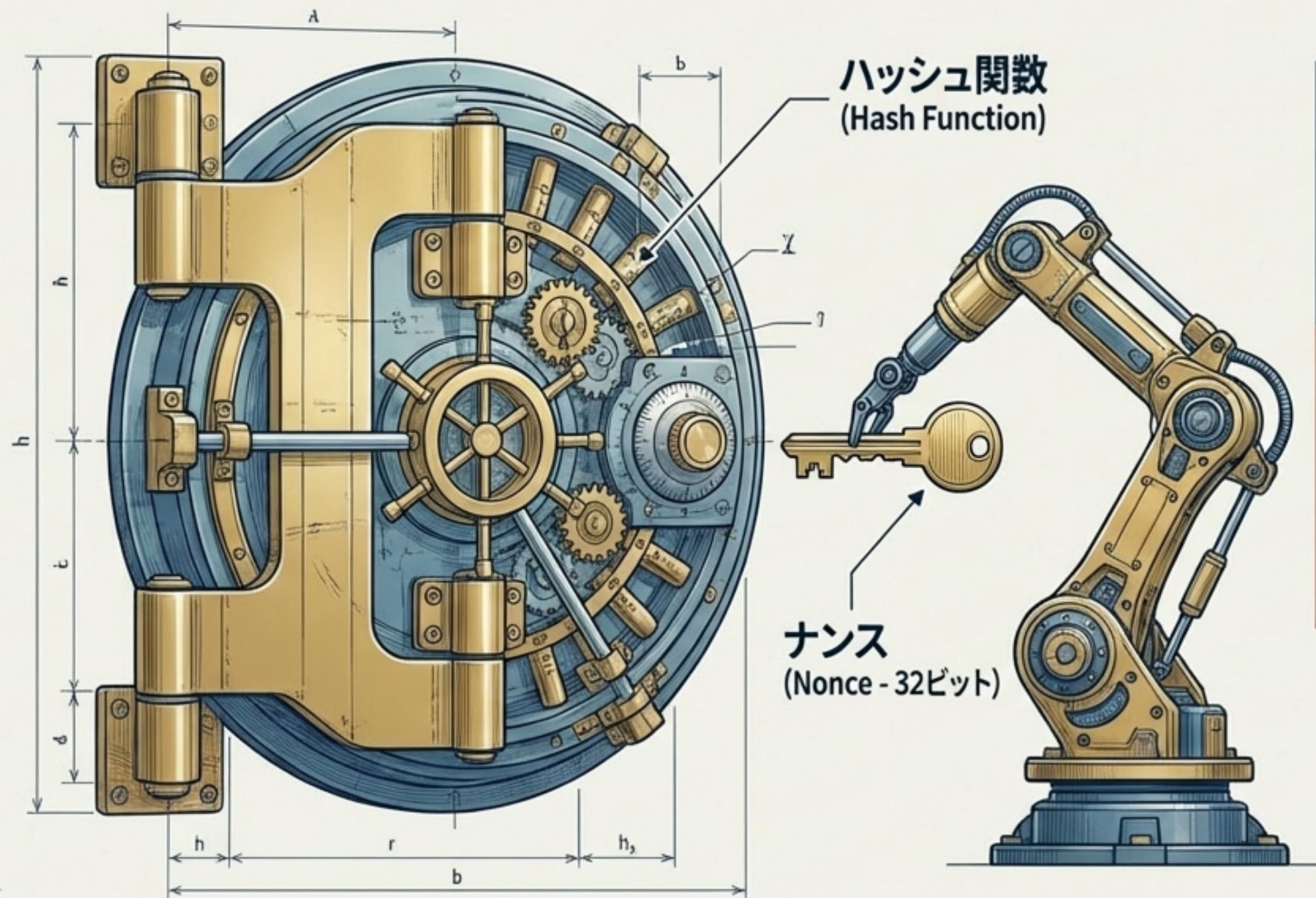
STEP 2: 報酬

この計算レースに「一番早く勝った者」にだけ、新しく発行されたビットコインが与えられる。

結論

これが、デジタル空間で金(ゴールド)を掘り当てる「マイニング(採掘)」の正体。

【図解】マイニングの裏側「ハッシュ関数とナンス」



ハッシュ関数とは：

どんなデータも一定の不規則な文字列に変換する「不可逆」のブラックボックス。

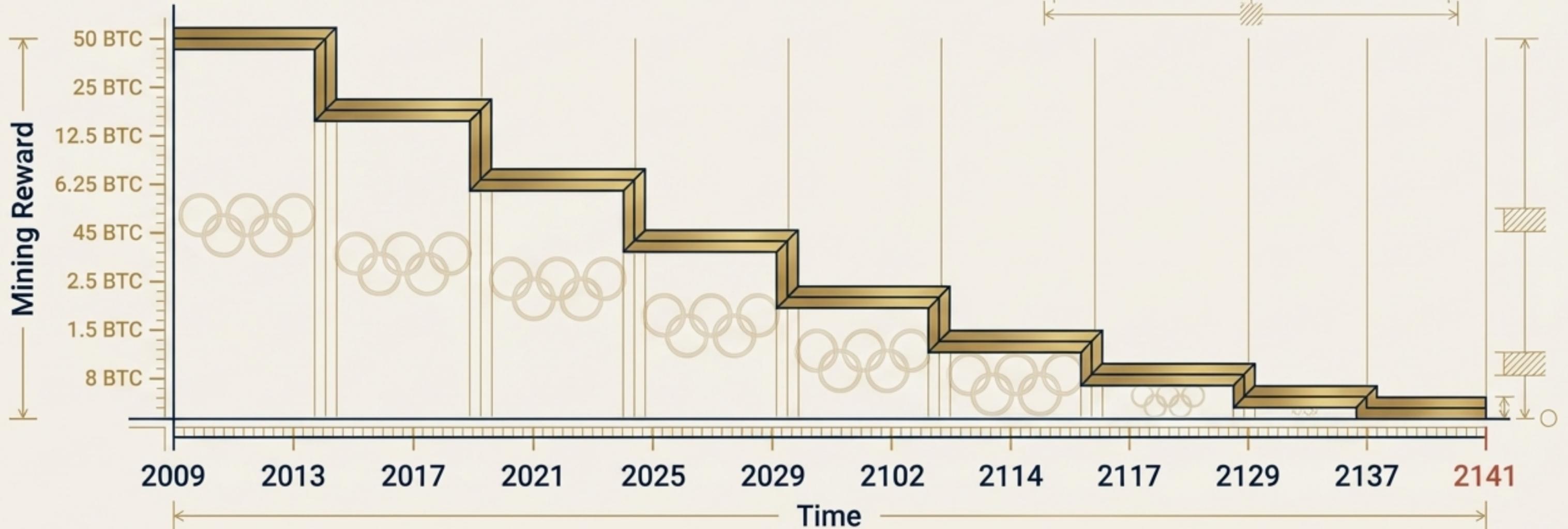
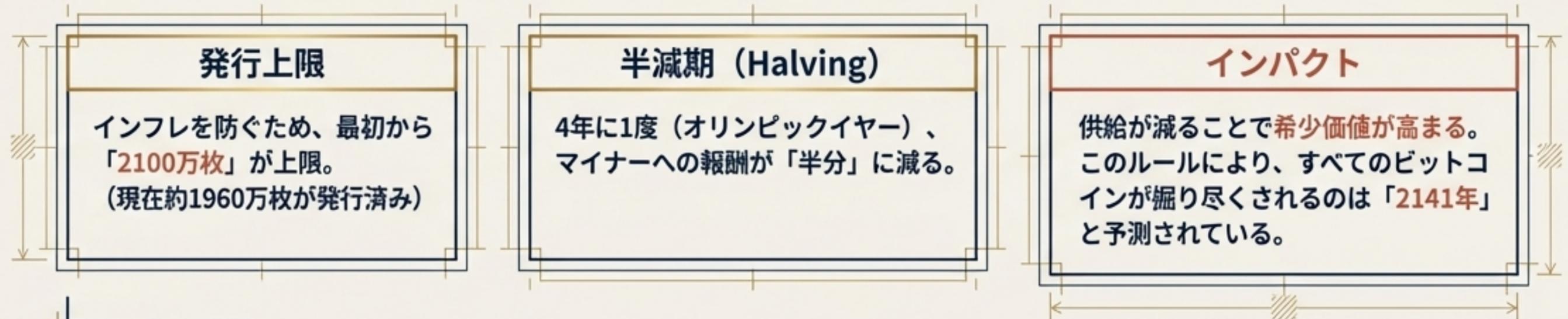
ナンスとは：

ブロックを繋ぐための「32ビットのランダムな鍵」。

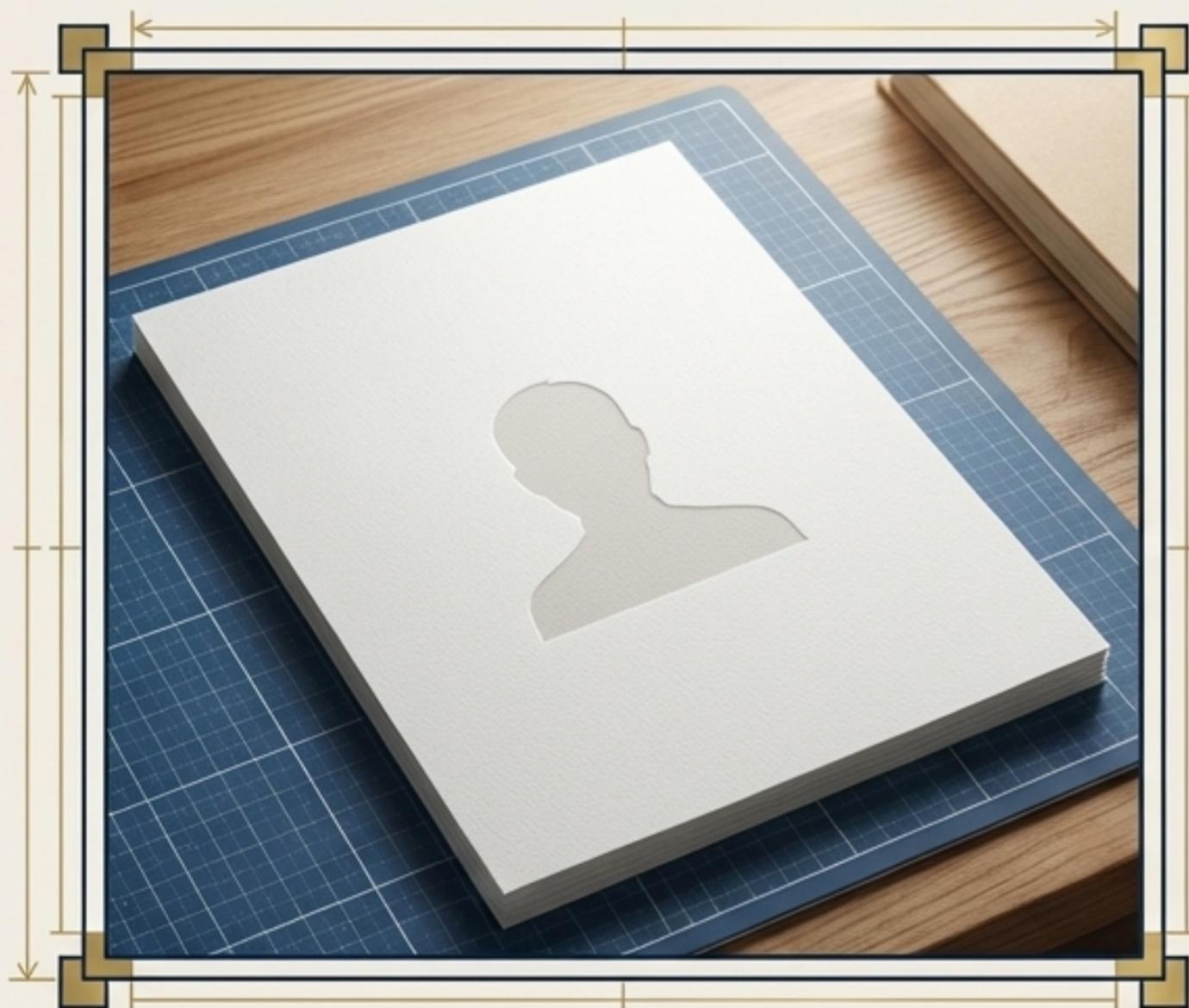
プルーフ・オブ・ワーク (Proof of Work)：

正解の鍵 (ナンス) を見つける唯一の方法は、何兆回もしらみ潰しに数字を当てはめること。この圧倒的な計算量 (電気代) こそが、改ざんを防ぐ最強の壁となる。

デジタルな「金」を生み出す、プログラムされた希少性



伝説の「1800億円のピザ」～ただのデータが価値を持った日～



2008年11月: 正体不明の人物「サトシ・ナカモト」のたった1本の論文から、有志のプログラマーによりシステムが産声を上げる。

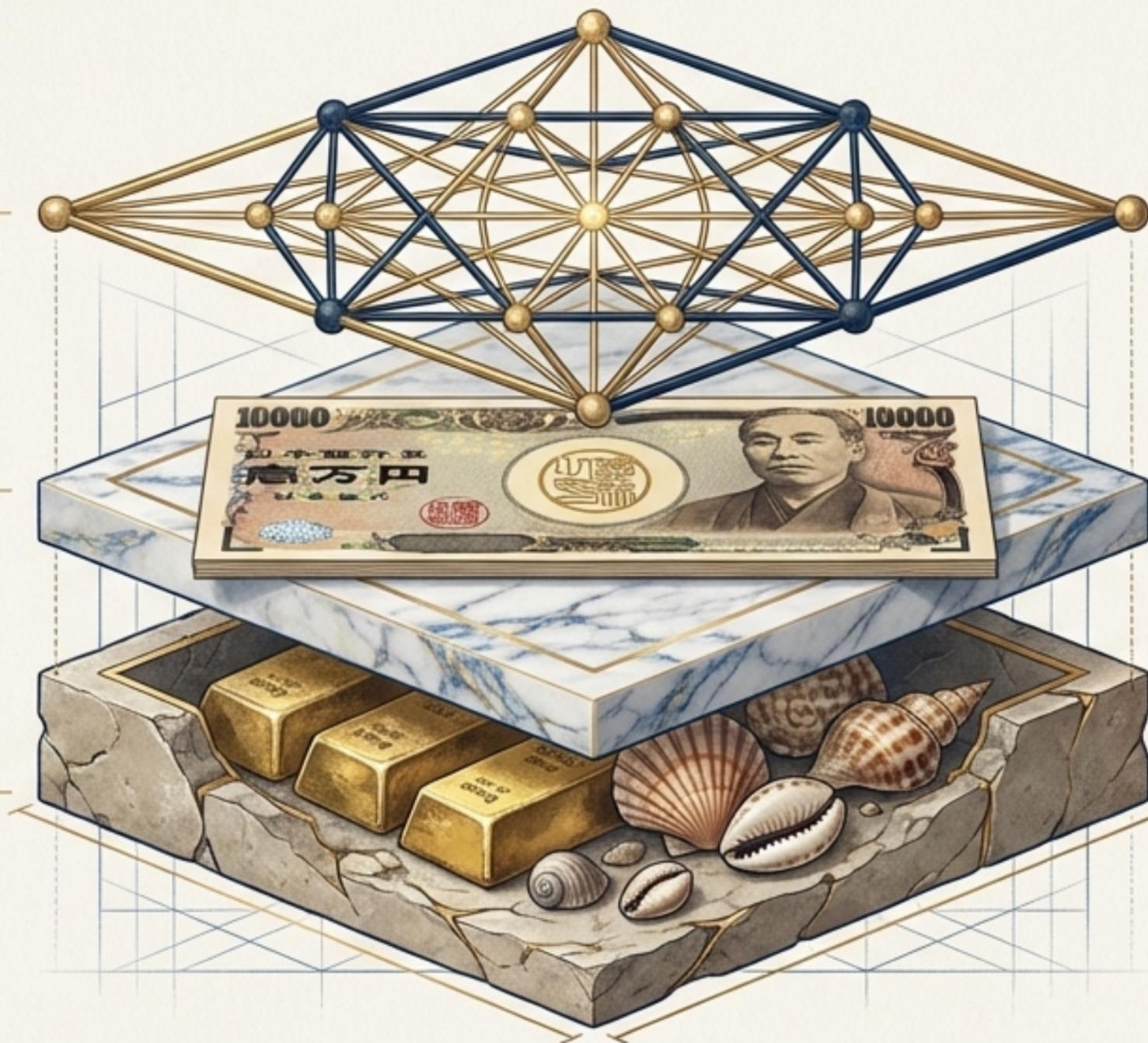


2010年5月22日: フロリダのプログラマーが「ピザ2枚」と「1万BTC」を交換。ただの実験用電子データが、現実世界で初めて「交換価値」を持った歴史的瞬間。

私たちが目撃しているのは、「お金の革命」ではない。「信用の革命」だ。

未来：テクノロジーへの信用

未熟中の極化な格差経済予ケテマシヨンの
マカマママシルが発露認される。



ビットコインの価値は国家の権威ではない。
改ざん不可能な「ブロックチェーン(数学)」と、
世界中が監視し合う「分散型ネットワーク」
への全人類の絶対的な信頼で成り立っている。

現在：国家への信用

国家的な価値は国定された信証を確認。
現在の会社は国家への信用だ。

1万円札の価値は「国」が保証している。
国が破綻すれば、ただの紙切れになる。

過去：物理的な価値への信用

歴史的な価値への必ず、ファテルとめ、
物理的な信用を信用し始める。



社会の仕組みを根本から変える技術。
知ることは、最強の教養になる。

投資をする・しないに関わらず、
この次世代インフラの根幹を理解することは、
未来を生き抜くための必須の武器となります。

まるでミステリー小説のような暗号資産の
追跡劇など、この極上のSF的現実の続きは、
ぜひ本書で確かめてください。